

市長さん、いかがでしょう？

塩竈のまちづくりに提案！



11月11日(日)、第14回塩竈こどもゆめ議会が開催されました。市内の小学6年生13人が「こども議員」として、塩竈のまちづくりを真剣に考え、市長と議論をしました。

これまで10回の勉強会を行い、テーマの選定や意見・質問の整理、発言の練習などを行ってきました。2つの党の代表質問を紹介します。

ジェラー党



桜葉 千穂

提案

世界中の人が塩竈を訪れてくれるように「知らせる」ということに注目し、その手段として、ポスターを考えました。

夏にポスターコンクールを開催し、塩竈ならではの魅力を伝える手描きのポスターや、インスタグラムなどのSNSを利用している人に対してイベントをアピールしてもらえようをお願いするポスターを募集します。

現在、市ではキャラクターとともにインスタグラムで市の魅力を発信しています。しかし、フォロワーが少ないです。ポスターにQRコードを必ず記載したものを作成し、アカウントがあることを知ってもらうのはいかがでしょうか。

市長からの回答

小中学生による塩竈ならではの魅力を伝える手描きのポスターのご提案は温かみがあり感銘を受けました。

また、インスタグラムをより多くの人に見てもらえるように、ポスターにQRコードをつけるというアイデアもいただきました。

このポスターには、市と市民、観光客が一緒になって、塩竈の良さを伝える効果を生むことが期待できます。

これは素晴らしい企画なので、学校で取り組んでみるのはいかがでしょうか。そのときは、市や観光物産協会と一緒に取り組み「世界でも人気の街・塩竈」の実現を目指したいと思います。

えんめい党



まぐ介

提案

超高齢化になっている今、だれにでも安全安心な街にするためには、地域の人たちが顔見知りになればよいと考えました。

そこで、高齢者の方と交流を深めるため、一緒に野菜を育てて、採れた野菜で料理を作る授業を行ったり、高齢者の方の家に伺い、草むしりや肩たたきなどを行う「一日孫体験」を行ったりしてみたいのはいかがでしょうか。

地域の方と顔見知りになり、ちょっとした変化にも気が付くことができると思いますが、僕たちも高齢者の方から、いろいろなことを教えてもらえたり、親への感謝を実感できたりすると思います。

市長からの回答

高齢者の方が持つさまざまな知恵を、児童の皆さんに教えてもらう機会を作ることには素晴らしいと思います。現在、小学校の校庭には野菜を作るための畑があると伺っています。今ある場所を活用していくことができるのではないかと思います。

「一日孫体験」は大変おもしろいアイデアです。現在、敬老の日の記念品に、小学生の皆さんからのメッセージを添えています。そこに、さらに肩たたきなどを盛り込めば、喜ばれるのではないのでしょうか。

だれもが笑顔で健やかに支え合いながら、安全に暮らし続けることのできる街をつくっていきけるよう努めてまいります。



えんめい党
委員長 篠崎 涼さん
(杉小6年)

僕たちの党は、塩竈を遠い未来まで明るい街にしたいと思い、塩竈の「塩」と遠い未来の「遠」、明るい街の「明」から「えんめい党」にしました。

僕はあまり練習できず心配でしたが、本番は練習の成果を発揮できたと思います。これから、僕たちの提案が実現されるか、見ていきたいと思っています。



ジェラー党
委員長 今野 百々花さん
(三小6年)

私たちの党は、たくさんの色があるジェラートのように、塩竈もいろいろな色に染まってにぎやかになればいいなと思い「ジェラー党」にしました。

みんなで協力してやってきたので、達成感でいっぱいです。私たちの提案が実現されたら、とても嬉しいです。



生涯学習課 生涯学習支援係
036212556